



【ナス】 ※原産地：インドの東部が有力

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
播種					○	○						
収穫							○	○				

■播き時と定植

- ・ナスは作気が長い作物。
- ・半袖に着替える頃、種播きをする。
- ・ポットに3粒。一番力のある双葉が出たものを残す。あとはハサミで切る。
- ・本葉が2枚出たところに定植する。
- ・元肥はたっぷりやり、追肥も。
- ・植え付けの間隔は60cm。

■育て方のコツ

- ・昔から「ナスの葉は座布団にしろ」と言われている。ナスの根は最初に水平に、そして深く、つまり広く深く根を張るのでナスの葉が大きいほど、根が土の中をしっかりと張っている証拠となる。
- ・大きな葉が何枚も出てきた頃、最初の花が咲く。この花の前後に出る腋芽（わきめ）を伸ばす。そのまま真っすぐに伸びてゆく主枝に加え、花の前後に出る側枝はもっとも勢いが強いので3本仕立てにする。
- ・支柱を立て、3段階にヒモを張る。（枝の向きが同じ方向を向くように結わえる）
- ・ナスの花は必ず実になる。
- ・花がつくたびに、同じところから腋芽が伸びて枝になる。
- ・この枝にも必ず実がつきますが、2節伸ばして実をつけさせたら、1節だけ戻して、そこから伸びた腋芽から再び身をつけさせる。こうして伸ばしていった腋芽は主枝3本から出ている1節を残してそれより長い部分は、8月の半ばにはすべて落とす。（＝切り戻し）こうして新たに伸びてきた枝につくのが秋ナス。旨いのが穫れる。

■料理のポイント

❖その他